



# ひだまり

編集元：  
 介護付有料老人ホーム  
**ひだまりの家**  
 〒547-0025  
 大阪市平野区瓜破西3-11-1  
 TEL: 06-6700-6900

## おしる

### ただ生きる

立てなくなつて  
 はじめて学ぶ  
 立つことの複雑さ  
 立つことの不思議  
 重力のむごさ優しさ

支えられて  
 はじめて気づく  
 一步の重み  
 一步の喜び

支えてくれる  
 手のぬくみ  
 独りではないと  
 知る安らぎ

ただ立っていること  
 ふるさとの星の上  
 ただ歩くこと  
 陽をあびて  
 ただ生きること  
 今日を

ひとつの  
 いのちであること  
 人とともに  
 鳥やけものとともに  
 草木とともに  
 星々とともに  
 息深く 息長く



十二単を纏った有職雛人形(玄関)

ただ  
 いのちであることの  
 そのありがたさに  
 へりくだる

谷川俊太郎

## 職場体験

二月七日、八日

今年も瓜破西中学校  
 の生徒さんが職場体験  
 に訪れ、素敵なバースデ  
 イカードを作ってくれ  
 ました。



## ご案内

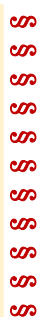
三月二十日(水曜日)  
 十一時から

三階機能訓練室にて、  
 「運営懇談会」を開催  
 します。

## お知らせ

三月二十一日(木曜日)  
 十四時

電気設備の月次点検  
 に際し、年次停電点検  
 を実施します。当日停  
 電の時間帯は、各フロ  
 アの非常照明が点灯  
 します。



## 本箱から

『こんな夜更けに』

バナナかよ』

渡辺一史著

在宅で、自立生活を目指  
 す筋ジストロフィー患者・

鹿野靖明さんと、二十四時  
 間体制で関わる介助ボラン  
 ティアとの交流や、葛藤を  
 描いたノンフィクション。

二〇〇三年に出版され、  
 翌年、大宅壮一ノンフィク  
 ション賞を受賞した。鹿野  
 さんは、二〇〇二年八月、  
 原稿完成直前に四十二歳で  
 亡くなられた。

障害や介護に対する思い  
 込みを根本から問い直す、  
 「目から鱗が落ちる」スリ  
 リングな内容。まさか十五  
 年の歳月を経て「映画」に  
 なるとは・・・。

## インフルエンザの予防

大阪市では、二〇一  
 九年第八週(二月十八  
 日〜二十四日)に、イン  
 フルエンザの流行発  
 生警報終息基準値が⑩  
 を下回りました。マス  
 ク着用等ご協力ありが  
 とうございました。



渡辺一史著『こんな夜更けにバナナかよ』

## お誕生日

おめでとうございます。  
 いつまでもお元気で!  
 二月二日



二月九日



## 今日の一句

目を入るるとき

痛からん

雛の顔

長谷川 權